

全労連・地域ユニオンの実態と課題 (メモ)

1. 全労連・地域ユニオンの組織現状

1. 地域ユニオンの現勢
177 ユニオン 10209 人 (組合員 9066、準組合員 1143)
2. 主なユニオン (ローカルユニオンの類型)
3. 地域ユニオンの活動エリア

2. 地域ユニオンの特徴的な活動

1. 労働相談活動
2. 交流会、レクリエーション
3. 学習会など
4. 宣伝活動
5. 争議、裁判など
6. 組織の拡大強化、その他

3. 地域ユニオンの活動上の問題点

4. 地域ユニオンの課題

5. ナショナルセンターとしての課題 (「問題提起」より)

<ローカルユニオン全国交流集会 09 年 6 月 28~29 日>

1. ローカルユニオン運動の特徴と到達点

ポイント

- ① 非正規労働者への雇止め・解雇、偽装請負を告発し、労働者を激励する存在として地域の労働運動に影響力を発揮している。
- ② ローカルユニオンは、41 都道府県に 134 組織 10,274 人 (前回 07 年 6 月、40 都道府県 116 組織 5,877 人) の組合員を組織している。

2. ローカルユニオンの役割と課題

ポイント

- ① ローカルユニオンの第 1 の役割は、職場・地域に存在する「一人ぼっち」の労働者をなくし、要求を実現すること。第 2 の役割は、労働組合としての学習・教育運動を強め地域運動の担い手を育成することである。
- ② ローカルユニオンの課題は、地域のすべての未組織労働者をはじめ、派遣・請負、臨時・パートなどの非正規雇用の組織化とりわけ青年、女性労働者を組織することである。

3. ローカルユニオンの組織拡大と運動をさらに広げるために

ポイント

- ① 全労連、単産・地方組織はローカルユニオンへの援助を引き続き強める。
- ② ローカルユニオンは連帯のネットワークを強化し、組織と運動のさらなる発展をめざす。

以上

